

# NAGAYA MODERNISM

## トークイベント

講演・朗読

「名古屋のモダニズム詩人たち」

2024.11.10sun 10:30~12:00

◆講師:木下信三(愛知文学史誌会代表)

◆朗読:菅沼翔也(俳優・ミュージシャン)

◆会場:文化のみち二葉館 1階大広間

※入場無料(要入館料)

※当日先着順自由席

(50席程度・立ち見スペース有り)

## PROFILE

出演者プロフィール

### 【木下 信三(きのした しんぞう)】

1934年名古屋市生まれ。1966年より個人誌発行、現在に至る。1968年、名古屋地方の無名物故詩人の発掘作業開始。



1970年より種田山頭火の実証的研究を志し全国足跡を追跡調査。著書『名古屋近代文学史私考』『愛知戦後文学史考』『山頭火伝』など。

### 【菅沼 翔也(すがぬま しょうや)】

名古屋おもてなし武将隊2代目豊臣秀吉役を務めた後、舞台やドラマ、映画、ライブイベント等で活動している俳優・ミュージシャン。



近年ではNHK「どうする家康」名古屋市映画「五時のメロディ」等に出演。岡崎市出身。ホーボーズ所属。

# 名古屋・モダニズム詩展II

「モダニズムからシュルレアリスムへ」

モダニズムとは、大正から昭和初期(1920-1930年代)にかけて、文学、絵画、建築などの分野に興った新しい芸術表現運動です。この頃、名古屋では詩作が隆盛し、いくつもの詩誌が若い詩人たちによって創刊され、日本のモダニズム文学を牽引しました。中でも大正11年に詩誌「青騎士」を発行した井口蕉花や春山行夫は、当館が建つ東区榑木町の隣、主税町に居住し、新しい詩の表現を模索しました。また、詩芸術誌「シネ(CINE)」を創刊し、モダニズムに続く芸術

表現のひとつであるシュルレアリスム(超現実主義)を日本に紹介した山中散生や、前衛写真家で詩人の山本悍右も名古屋の出身でした。

今回の展示では、愛知文学史誌会代表で郷土詩人の研究家である木下信三氏より寄贈された貴重な資料を中心に、名古屋のモダニズム・シュルレアリスム運動に関わった詩人たちやその作品などについてご紹介します。



上:「青騎士」第1巻4号(青騎士編輯所)  
 中:「CINE」創刊号(シネ刊行所)  
 下:「夜の噴水」第1号(山本悍右発行)

主催・お問い合わせ

文化のみち二葉館

名古屋市東区榑木町3丁目23番地  
 TEL / FAX 052-936-3836

【名古屋市旧川上 貞奴邸】

<https://www.futabakan.jp>

「ドニチエコきっぷ」「一日乗車券」

を利用してご来館の方は入館料割引!

一般200円→160円



交通のご案内

- なごや観光ルートバスメーグル「文化のみち二葉館」下車
- 市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
- 基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分
- 地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分
- 名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



公式サイト



Instagram

